

# 飯塚市立図書館システム更新業務仕様書

## 1 業務名

図書館システム更新業務 委託

## 2 履行場所

飯塚市 飯塚外4箇所 地内

## 3 履行期間

契約締結の日の翌日から令和4年1月31日まで

## 4 業務の目的

飯塚市立図書館全館（飯塚図書館、ちくほ図書館、庄内図書館、穂波図書館及び穎田図書館）の図書館システム（以下「新システム」という。）の更新により、図書館業務の効率化を目的とする。

## 5 飯塚市立図書館の規模（令和3年3月31日現在）

飯塚市立図書館（図書館5館）の規模及び現行システムは以下のとおりである。

新システムの提案にあたっては、これらを考慮し、新システム稼働後の数値の増加を見込んだ上で能力に十分なゆとりを持ち、稼働から5年間動作に支障のないシステムとすること。

項目	令和元年度末	5年後（見込み）
蔵書数	502,296点（令和2年度末）	558,000点
利用者登録数	61,464人（令和2年度末）	70,000人
年間貸出資料数	597,676点	600,000点
年間利用者数	356,076人	357,000人

※新型コロナウイルスの影響で来館者が減少したため、貸出数等は令和元年度を参考とする。

	飯塚図書館	ちくほ図書館	庄内図書館	穂波図書館	穎田図書館
MARC会社	TRC				
稼動システム	Webilis				
図書バーコード	10桁	9桁	9桁	9桁	9桁
利用者バーコード	10桁	10桁	10桁	10桁	10桁

## 6 事業の基本要件

- (1) 新システムの機能については、現行の図書館システムと同等以上とする。
- (2) 新システムは、既存のMARC、図書バーコード、利用者バーコードに対応できること。
- (3) 新システム機能の主たる概要は、別添1「図書館システム（5館）の機能概要」のとおりとする。
- (4) 新システムの機器構成の詳細は、別添2「ハードウェア基本要件」のとおりとする。
- (5) ネットワーク環境については、次のとおりとする。
  - ① クラウドサービスを提供するデータセンターへの接続、各図書館の接続（ネットワーク）及び情報発信（インターネット環境）は新たにネットワーク環境を整備すること。
  - ② ネットワーク構成は、別添3「ネットワーク図」のとおりとする。
- (6) 現システムで構築された利用者向け蔵書検索システムの移行とリニューアルを行い、さらに図書館ホームページをリニューアルする。なお、データ移行期間等を除き現行のホームページから連続して利用ができること。
- (7) 新システム稼働までの間、現システムを安全に稼働できるようにする。
- (8) 令和4年1月31日までに新システムを導入し、データ移行、新システム運用、機器類のセ

ットアップ、サーバ側の運用設定、職員の操作研修を行う。また、令和4年2月1日からの本稼働時には立ち合いと支援を行う。

- (9) 本業務には現行システムからのデータ抽出作業及び費用は含まれない。データ移行について、次期システム受託者は現行システム構築及び保守業者（富士通 Japan 株式会社）と協議し、円滑に移行すること。
- (10) WebOPAC に関しては、データ移行期間等を除き、連続して使用ができるようにする。
- (11) 新システムが安全に、かつ安定して運用できるよう、運用期間は、ハードウェア、ソフトウェアの保守を行うこと。

## 7 新システムの基本要件

- (1) 新システムは「利用者サービス業務」、「管理業務」など図書館の業務全体を処理できるトータルシステムであること。  
システム機能の詳細は、別紙「図書館システム機能概要」の機能を有すること。
- (2) 新システムについては、クラウド型で構築するものとし、導入時点で安定稼働の実績がある最新版を用いること。  
なお、クライアント OS は windows 10 で運用可能なこと。
- (3) 稼働時間は、計画的な停止を除き 24 時間 365 日とする。  
ただし、計画的な停止は閉館時間帯とし、1 週間前までに事前連絡するものとする。
- (4) ソフトウェアのライセンスは、必要台数分が支障なく利用できる数を提供し、導入から 5 年間のライセンスも含めること。また、本仕様に記載の条件がない限りにおいては、利用者登録数や蔵書数の増加によるソフトウェアのライセンス料の追加は発生しないこと。
- (5) 個人情報保護及びセキュリティ対策を確実に実施すること。
- (6) コンピューターウイルスなどの外部攻撃に対し、堅牢なセキュリティ対策を持つシステムであること。また、停電やネットワーク障害等の危機に対する対策を実施しデータを保全すること。
- (7) 有害サイトに対するフィルタリング等を実施すること。
- (8) 現在の利用者カード及び資料に添付しているバーコードが、そのまま利用であること。
- (9) 株式会社図書館流通センターが提供する「TOOLi」と連携でき、受発注や MARC 登録ができること。

## 8 ハードウェア関連要件

- (1) ハードウェア要件等については、別紙「ハードウェア基本要件」の要件を満たす機器を選定すること。
- (2) 保守性を考慮し、本体・キーボード等は公立図書館への導入実績があるメーカー製品とすること。
- (3) 機器は全て新品とし、配置は検収時に使用できる状態とすること。

## 9 運用保守について

- (1) 福岡県内にサポート拠点を有していること。又はそれと同等のサポート体制（概ね 2 時間以内に訪問による保守対応）が取れること。
- (2) サポート拠点には図書館業務に精通したシステムエンジニアが常駐すること。
- (3) 図書館システムの操作や運用方法などの問合せに対応できるコールセンターを有していること。又はそれと同等のサポート体制を有していること。
- (4) 以下の蔵書点検業務対応を行うこと。
  - ①初日訪問サポート（ハンディターミナルの他図書館との貸借調整及び必要台数手配、操作説明・データ投入立会い等）
  - ②終了訪問サポート（点検更新と不明資料出力立会い等）

- (5) その他、以下対応を含む、図書館システム全般の運用支援を行うこと。
  - ①運用の変更等にかかわる打合せ、パラメータ説明、適用時の影響などの説明
  - ②訪問による不要資料の洗出し支援と雑誌一括除籍、未利用者除籍の立会い（年度末、蔵書点検前）
- (6) 連絡体制を整えるため、保守部門及び営業部門は同一会社（法人）であること。
- (7) 平日（月曜日～金曜日）は、9時～17時まで問い合わせに対応できる体制を整えること。
- (8) 休日及び祝祭日の保守対応依頼に対応できるよう連絡体制を整えること。
- (9) ハードウェア保守については、週6日（火曜日～日曜日）の当日出張修理対応を行うこと。

#### 10 ネットワークについて

- (1) ネットワークは既存のものを継続利用する。
- (2) 設置機器の調整と運用に至る全ての設定を行うこと。
- (3) 予め施設の配架状況を確認し、提案システム的能力に対し不十分と判断した場合は、配線を引き直すこと。必要に応じて配線及び配管等のLAN工事を行うこと。ただし、既設ケーブルの確認や修繕・追加配線工事費も提案金額に含むものとする。
- (4) クラウドに接続するインターネット回線は本市にて用意する。  
飯塚図書館 NTTコミュニケーションズOCN光「フレッツ」IP1  
庄内図書館 NTTコミュニケーションズOCN光「フレッツ」VPN  
ちくほ図書館 NTTコミュニケーションズOCN光「フレッツ」VPN  
穂波図書館 NTTコミュニケーションズOCN光「フレッツ」VPN  
穎田図書館 NTTコミュニケーションズOCN光「フレッツ」VPN

#### 11 日程等

- (1) 新システムの稼働日は、令和4年2月1日とする。
- (2) 新システムの環境設定、機器設置及び蔵書点検等に伴う全館休館期間は、令和4年1月17日から令和4年1月31日までの間とする。この環境設定期間中にテスト稼働を行うこと。
- (3) 1月27日～31日までは、訪問による対応を行うこと。

#### 12 委託料の支払

支払方法は、業務完了後、所定の手続を経た後、受注者の正当な請求書に基づき30日以内に支払うものとする。

#### 13 その他

本仕様書に記載されていない事項及び仕様内容について疑義が生じた場合は、発注者及び受注者双方協議のうえ定める。